

月報だより

月報だよりの原稿は毎月 20 日締切、翌月に発行の「天文月報」に掲載致します。校正をお願いしておりますので、締切日よりなるべく早めにお申し込み下さい。

e-mail で gpjimu@tenmon.or.jp 宛、なお、出力原稿も必ず 0422-31-5487 迄 Fax でお送り下さい。

人事公募

標準書式：なるべく、以下の項目にしたがってご投稿下さい。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員 (ポスト・人数など)
2. (1) 所属部門・所属講座, (2) 勤務地
3. 専門分野
4. 職務内容・担当科目
5. (1) 着任時期, (2) 任期
6. 応募資格
7. 提出書類
8. 応募締切・受付期間
9. (1) 提出先, (2) 問合せ先
10. 応募上の注意
11. その他 (待遇など)

宇宙科学研究所教官公募

1. 教授 1 名
2. (1) 宇宙圏研究系 高エネルギー天体物理学第三部門
(2) 神奈川県相模原市由野台 3-1-1 宇宙科学研究所
4. 飛翔体を用いた高エネルギー天体物理学の研究。当所では 2000 年の打ち上げをめざして X 線天文衛星 Astro-E の開発が進んでいるが、この衛星の運用・観測計画推進の中心的役割を果たすと共に、次期 X 線天文衛星計画の具体化および国際協力の推進を積極的に進められる方を希望する。
なお当該部門は、現在、村上敏夫助教授・尾崎正伸助手が在籍し、高エネルギー天体物理学第一部門、同第二部門と協力して研究を行っている。大学共同利用機関である本研究所の役割を理解し、共同利用諸計画の遂行にも積極的な役割を果たしていただく必要がある。
5. 決定後できるだけ早い時期
7. (1) 略歴, (2) 研究歴, (3) 論文リスト及び主要論文別刷り, (4) 研究計画書, (5) 他薦の場合、推薦書 2 通、自薦の場合、本人について意見を述べられる人 2 人の氏名と連絡先。
8. 平成 11 年 5 月 7 日 (金) 必着
9. (1) 〒 229-8510 神奈川県相模原市由野台 3-1-1
宇宙科学研究所 庶務課人事係
(2) 同上 宇宙圏研究系 井上 一

Tel: 042-759-8149

Fax: 042-759-8455

E-mail: inoue@astro.isas.ac.jp

10. 封筒の表に、「宇宙圏研究系高エネルギー天体物理学部門教授応募 (推薦) 書類在中」と朱書して下さい。選考は、宇宙科学研究所運営協議員会において行います。応募者に適任者がいない場合は決定を保留することがあります。

1. 教授 1 名
2. (1) 宇宙圏研究系 赤外線天体物理学部門
(2) 神奈川県相模原市由野台 3-1-1 宇宙科学研究所
4. 飛翔体を用いた赤外線天文学の観測的研究。当所では 2003 年の打ち上げを目指してわが国初の赤外線天文衛星 ASTRO-F の開発がすすんでいるが、この計画での中心的役割を果たすと同時に、次期赤外線天文衛星計画の具体化および国際協力の推進等、スペース赤外線天文学における指導的役割を期待する。
また、大学共同利用機関としての本研究所の職務を理解し、共同利用計画の実施に積極的に協力していただける方を希望する。
5. (1) 決定後できるだけ早い時期
7. (1) 履歴書, (2) 研究歴, (3) 論文リストと主要論文の別刷り, (4) 研究計画書, (5) 他薦の場合は推薦書 2 通、自薦の場合は本人について意見を述べることのできる人 2 名の氏名と連絡先。
8. 平成 11 年 5 月 7 日 (金) 必着
9. (1) 〒 229-8510 相模原市由野台 3-1-1
宇宙科学研究所 庶務課人事係
(2) 宇宙圏研究系 銀河進化物理学部門 松本敏雄
Tel: 042-759-8163
Fax: 042-786-7202
E-mail: matsumo@astro.isas.ac.jp
10. 封筒の表に宇宙圏研究系赤外線天体物理学部門教授応募書類在中」と朱書し、郵送の場合は書留とする。選考は、宇宙科学研究所運営協議員会において行います。応募者に適任者がいない場合は決定を保留することがあります。

1. 助手 1 名
2. (1) 宇宙圏研究系 原始宇宙物理学部門
(2) 神奈川県相模原市由野台 3-1-1 宇宙科学研究所
4. 飛翔体を用いた赤外線天文学の観測的研究。当所では 2003 年の打ち上げを目指してわが国初の赤外線天文衛星 ASTRO-F の開発を進めている。この計画に積極的に参加し、観測装置、運用・解析ソフトウェアの開発、あるいはデータ処理に主要な役割を果たしていただくことを期待している。大学共同利用機関としての本研究所の職務を理解し、共同利用計画の実施に積

極的に協力していただける方を希望する。

5. 決定後できるだけ早い時期
6. 大学院修士課程終了, またはそれと同等以上.
7. (1) 履歴書, (2) 研究歴, (3) 論文リストと主要論文の別刷り, (4) 研究計画書, (5) 他薦の場合は推薦書2通, 自薦の場合は本人について意見を述べることのできる人2名の氏名と連絡先.
8. 平成11年5月7日
9. (1) 〒229-8510 神奈川県相模原市由野台3-1-1
宇宙科学研究所 庶務課人事係
(2) 宇宙圏研究系 銀河進化物理学部門 松本敏雄
Tel: 042-759-8163
Fax: 042-786-7202
e-mail: matsumo@astro.isas.ac.jp
10. 封筒の表に「宇宙圏研究系原始宇宙物理学部門助手応募書類在中」と朱書し, 郵送の場合は書留とする. 選考は, 宇宙科学研究所運営協議員会において行います. 応募者に適任者がいない場合は決定を保留することがあります.

1. 助教授1名
2. (1) 共通基礎研究系宇宙計測システム部門
(2) 神奈川県相模原市由野台3-1-1 宇宙科学研究所
4. 飛翔体を用いての宇宙観測に必須な計測技術, データ処理技術などの開発研究を行う. 特に, 2004年度打ち上げ予定の太陽観測衛星 SOLAR-B 計画において観測システム全般の取りまとめに指導的役割を果たせる方で, 大学共同機関である本研究の職務を理解し, 共同利用諸計画に積極的な役割を果たしていただける方を希望する.
5. 決定後できるだけ早い時期
7. (1) 略歴, (2) 研究歴, (3) 論文リスト及び主要論文の別刷り, (4) 研究計画書 (自薦の場合), (5) 推薦書2通 (他薦の場合) 又は本人について意見を述べられる人2名の氏名と連絡先 (自薦の場合)
8. 平成11年5月7日(金)必着
9. (1) 〒229-8510 神奈川県相模原市由野台3-1-1
宇宙科学研究所 庶務課人事係
(2) 研究所内 惑星研究系 教授 小杉健郎
電話 042-759-8175
10. 封筒の表に「共通基礎研究系宇宙計測システム部門助教授応募(推薦)書類在中」と朱で明記して下さい. 選考は, 宇宙科学研究所運営協議員会において行います. 応募者に適格者がいない場合には決定を保留することがあります.

名古屋大学太陽地球環境研究所教官公募

1. 助教授1名
2. (1) 太陽圏環境部門
(2) 愛知県名古屋市
3. 上記部門では, 太陽宇宙線・銀河宇宙線の加速機構と伝搬の研究, 太陽風の加速機構と伝搬の研究を行っています.
今回の公募では全国共同利用研究所の職員として, 宇宙線のモジュレーション等の太陽圏の研究に積極的に関与して下さる方を希望しています.
5. 決定後できるだけ早い時期
7. 履歴書, 研究歴, 業績リスト, 主要論文別刷, 研究計画書; 自薦の場合は本人について意見が述べられる方2名の氏名と連絡先を記入した書面, 他薦の場合は2人の方からの推薦書.
10. 封書に「助教授応募書類在中」と朱書し, 書留で送付のこと.
8. 平成11年5月25日(火)
9. (1) 〒442-8507 愛知県豊川市穂ノ原3-13
名古屋大学太陽地球環境研究所
教授 上出洋介
電話 0533-89-5183
Fax 0533-89-0409
e-mail kamide@stelab.nagoya-u.ac.jp
(2) 〒464-8601 名古屋市千種区不老町
名古屋大学太陽地球環境研究所東山分室
太陽圏環境部門教授 村木 綏
電話 052-789-4314
Fax 052-789-4313
e-mail muraki@stelab.nagoya-u.ac.jp
11. 名古屋大学太陽地球環境研究所人事選考委員会の選考に基づき, 同運営協議会の意見を求めて同教授会で決定します. なお, 該当者がいない場合は決定を保留します.

1. 助手1名
2. (1) 電磁気圏環境部門
(2) 愛知県豊川市
3. 当研究部門では, 欧州非干渉散乱(EISCAT)レーダー等の大型レーダーと大気光イメージング装置等を用いた地上観測, 及び人工衛星利用等の手法により熱圏・電離圏・磁気圏環境の研究を行っています. 今回の公募では, 電波的・光学的観測手段を用いて電磁気圏環境の研究を進展させるとともに, 全国共同利用研究所としての任務を十分に理解し, 共同利用の促進に積極的に取り組んでいただける方を希望します.
5. 決定後できるだけ早い時期
6. 大学院修士課程修了または同等以上

7. 履歴書, 研究歴, 業績リスト, 主要論文別刷, 研究計画書; 自薦の場合は本人について意見が述べられる方2人の氏名と連絡先を記入した書面, 他薦の場合は2人の方からの推薦書.
10. 封書に「助手応募書類在中」と朱書し, 書留で送付のこと.
8. 平成11年5月14日(金)
9. (1) 〒442-8507 愛知県豊川市穂ノ原3-13
名古屋大学太陽地球環境研究所
教授 上出洋介
電話 0533-89-5183
Fax 0533-89-0409
e-mail kamide@stelab.nagoya-u.ac.jp
- (2) 〒442-8507 愛知県豊川市穂ノ原3-13
名古屋大学太陽地球環境研究所
教授 小川忠彦
電話 0533-89-5164
Fax 0533-89-1539
e-mail ogawa@stelab.nagoya-u.ac.jp
11. 名古屋大学太陽地球環境研究所人事選考委員会の選考に基づき, 同運営協議会の意見を求めて同教授会で決定します. なお, 該当者がいない場合は決定を保留します.

理化学研究所平成12年度基礎科学特別研究員

1. 2. 募集分野: 物理学, 化学, 生物科学, 医科学, 工学の分野で, 理化学研究所で実施可能な研究
5. 平成12(2000)年4月1日
6. 平成12年4月1日現在35歳未満で, 博士号取得者又はこれと同等の能力を有するものと認められる者.
※日本国に永住権を有さない外国人にあっては, 上記に加え次の条件を満たす者.
(1) 応募日現在日本国に在住している者, (2) 日本国の大学院博士課程を修了(見込を含む)し, 博士号を取得(見込を含む)の者
7. 応募要項頒布: 頒布開始は4月上旬予定. 応募要項の請求は, 下記FAX又はE-mailへ(1)郵便番号, (2)住所, (3)氏名(漢字), (4)氏名(カタカナ)を記入し, 送信すること. ※要項代は無料
8. 平成11年5月31日(月)必着
9. (2) 〒351-0198 埼玉県和光市広沢2-1
理化学研究所研究業務部若手研究員制度推進室
基礎科学特別研究員担当
TEL: 048-467-9268 (直通)
FAX: 048-463-3687
E-mail: wakate@postman.riken.go.jp

国立天文台教官公募

1. 助手1名
2. (1) 位置天文・天体力学研究系
(2) 東京都三鷹市
3. 光赤外天文計測および関連分野
国立天文台では, 光赤外干渉計を用いた銀河動力学, 恒星物理学, 星周領域物理学などの研究の推進を目指して, 現在, 可視光および近赤外線領域におけるマイケルソン型干渉計の開発を行っています. 光干渉の経験の有無は問いませんが, 光赤外干渉計の実験・開発研究に積極的に関わり, その成果を基に上記の諸分野の研究を推進しようとする意欲的な若手研究者を求めます.
5. (1) 決定後なるべく早い時期
6. 大学院修士課程終了, またはそれと同等以上の方
7. (1) 略歴書(本人の顔写真を添付), (2) 研究歴(これまでの研究内容の概要を含む), (3) 研究論文リスト(査読論文とその他を区別し, 共著の主要論文には役割分担を記すこと), および主要論文別刷, (4) 研究計画書, (5) 本人について意見を述べられる人2名の氏名と連絡先, (6) 他薦の場合には推薦書の他に, 前記事項(1)~(4)の概要がわかる書類
8. 1999年5月14日(金)必着
9. (1) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1
国立天文台長 小平桂一
(2) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1
位置天文・天体力学研究系
主幹 藤本真克
TEL: 0422-34-3622
FAX: 0422-34-3793
E-mail: fujimoto@gravity.mtk.nao.ac.jp
10. 封筒の表に「光赤外干渉計助手人事応募書類在中」と朱記し, 簡易書留でお送り下さい. 選考は国立天文台運営協議委員会において行います.

人事公募結果

1. 掲載号
2. 結果 (前所属)
3. 着任時期

宇宙科学研究所次世代探査機センター助手

1. 第91巻6号
2. 和田武彦 (理化学研究所奨励研究員)
3. 1998年11月1日

国立天文台助教授

1. 第91巻7号
2. 田村元秀 (国立天文台)
高見英樹 (国立天文台)

研究会・集会案内

星形成に関する国際会議のお知らせ

国際会議を下記の要領で開きます。星形成領域の構造、原始星の形成、YSOとその活動性、質量スペクトル、若い銀河での星形成などのテーマについて招待講演があります。ポスター発表の申し込み締め切りが迫っているので、発表を希望される方はお急ぎ下さい。

会議名称：「星形成に関する国際会議」
— Star Formation 1999 —

主催：国立天文台
文部省科学研究費「マゼラン星雲大研究」
名古屋大学大学院理学研究科
日時：1999年6月21日(月)～25日(金)
場所：名古屋大学シンポジオン
〒464-8601 名古屋市千種区不老町
参加費：一般16,000円、学生14,000円(4月1日以降)
一般14,000円、学生10,000円(3月31日までに参加費を振り込んだ場合の早割)
連絡先：〒464-8602 名古屋市千種区不老町
名古屋大学理学部物理A研 花輪知幸
電話：052-789-2841 Fax: 052-789-2845,
E-mail sf99@tap.scphys.kyoto-u.ac.jp
http://aoi.scphys.kyoto-u.ac.jp/~sf99/conf.html

会務案内

欧文研究報告 (PASJ) の論文掲載料改訂について

天文学会会員の皆様

予ねてからお知らせしておりましたように、本年1月1日より欧文研究報告への論文掲載料が以下の通り改訂されました。

但し、白黒及びカラーの写真に関わる実費はこれまでと変更ありません。

今回の改訂は欧文研究報告への論文投稿を促すための特別処置として2年間の期限付きで、2000年12月31日までに投稿された論文について適用されます。

○掲載料にはこれまで通り2種類の設定があります。

1. 筆頭著者が天文学会正会員であり、原稿をTEX/LATEXの電子ファイルで投稿した場合の新掲載料は2,200円/頁となります。
2. 筆頭著者が天文学会正会員以外である場合、または原稿をTEX/LATEX以外のファイル形式(タイプ原稿を含む)で投稿した場合の新掲載料は2,900円/頁です。

○掲載料の合計は以下の計算式から見積もってください。

$\langle Pp + 20np + 15000A + FC \rangle + \text{消費税}$

p = 頁数

Pp = 掲載料 (ページチャージ)

Pは上記の1または2の条件により決まります。

20np = 別刷代

1頁あたり20円で、nは別刷りの部数。

15000A = モノクロ写真版に関わる1頁あたりの製版実費

Aはプレートページのページ数

FC = FCはカラー印刷の実費

現在は写真1点当たり約11万円です

新しい掲載料についてご不明の点がございましたら欧文研究報告編集部までお問い合わせください。

欧文研究報告の掲載料が値下げされたことを、国内外を問わず、より多くの研究者に周知して戴きますようお願い申し上げます。

欧文研究報告編集長 有本信雄

早川基金応募カバーシート

(本頁をA4に拡大コピー・記入して、応募用紙の最初に添付して下さい)

氏名	(会員番号：)	生年月日	19 年 月 日 (歳)
所属	身 分	大学院 (修士・博士) 課程 年生	
援助希望 の内容		(観測・国際共同研究・国際研究集会) その他 [] 研究生・学振 (PD・DC) (常勤・非常勤) 職員 [職名：]	
渡航期日		年 月 日～ 年 月 日 その他 []	
渡航期間：	渡航場所	渡航費見積金額： 円	
研究略歴			
渡航歴および旅費の出所：			
渡航の主旨：			
国際研究集会についての寄与： 1. 口頭発表, 2. ポスター, 3. その他 []			
連絡先		TEL	FAX

日本天文学会早川幸男基金受給者募集要項

日本天文学会 早川幸男基金（若手海外学術研究援助基金）内規*に基づき、海外学術研究に対して援助を希望する者を募集（1999年度第3期）致します。

1. 援助金総額 年間 200 万円（1999 年度）
2. 援助件数 年間数件程度
3. 募集対象期間 1999 年 7 月 1 日～9 月 30 日の間に日本を出発するもの。また前回の応募時に間に合わず、すでに渡航してしまった場合はその事情説明をつけて応募して下さい。
4. 応募必要書類（少なくともコピーの分は A 4 紙に統一すること）

原本 1 部、コピー 5 部。書類（特にコピーの分）に不備があると審査段階で不利益を被る恐れがありますのでご注意ください。

- (1) 応募用カバーシート（第 92 巻 4 号 242 頁の応募用紙を A 4 に拡大コピーして使用する）。なお、渡航目的と応募者の研究内容との関連は詳しく書くこと。
 - (2) 論文リストを含む研究業績
 - (3) 観測については、観測割当通知および観測提案の写しか、それに準ずるもの
 - (4) 国際共同研究については、渡航先の招聘状および研究計画の概要
 - (5) 研究集会参加については、当該研究会開催の主旨を説明する資料、プログラム、および応募者の寄与（口頭発表等）を証明するもの
 - (6) 大学院生の場合、研究指導者の意見書
 - (7) 航空運賃の見積書
 - (8) 関連研究論文の写し（一編）
5. 応募締切：1999 年 6 月 10 日必着
 6. 決定時期：1999 年 6 月下旬
 7. 応募書類送付先：

〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1
国立天文台内
日本天文学会 早川基金募集係

*早川基金内規（天文月報第 90 巻第 5 号参照）による援助対象資格は「日本天文学会会員で、原則として 35 歳以下の天文学研究者であって、この基金以外の海外渡航費（滞在費を除く）の援助を受けない者。」です。

◎1999 年はこの後、9 月 10 日締め切りで 1999 年 10 ～ 12 月出発分の募集を行う予定です。応募希望者は書類等の準備をしてください。

◎援助者には、帰国報告書をお願いします。

そ の 他

東大木曾観測所に
「ふるさと切手」に

長野県木曾郡三岳村の東京大学理学部木曾観測所（吉井譲所長）はこの 4 月で 25 周年を迎えます。これを記念し、天文学を通じて地域との交流がさらに発展することを願って、木曾観測所と御嶽山をデザインした郵政省のふるさと切手（80 円切手）が信越郵政局管内の長野、新潟両県の郵便局を中心に 4 月 9 日発売されることになりました。木曾観測所のシンボルのシュミット望遠鏡ドームと木曾の御嶽山の景観が赤く美しいばら星雲を背景に描かれています。地元の三岳郵便局は、発売日当日に全国の郵便局で唯一、同切手に「初日印」という記念スタンプを押すサービスを行います。

興味のある方は、

三岳郵便局 〒397-0199 長野県木曾郡三岳村 6457-2
電話 0264-46-2042 へお問い合わせ下さい。



研究助成

東レ科学研究助成の審査結果

平成 10 年度の東レ科学研究助成候補を日本天文学会から数件推薦致しました。その結果、国立天文台電波天文学系奥村幸子様「電波天文観測用超高速 A/D 変換ボードの開発」、助成金額 1,300 万円が採択されました。

●事務室だより●

☆会員番号

会員の方はすべて番号によって管理しています。会費納入時、又は学会へのご連絡の時等は必ず会員番号をお知らせ下さい。毎月お送りしている天文月報の宛先の下に () で表示してある番号です。尚、会員番号の次に* J * と表示のある方は銀行自動引き落とし扱いを申し込まれている方です。

☆天文月報のエアメール・サービス

海外へ天文月報を送付する時はお申し出によりエアメールでお送りするサービスをしています。1ヵ月250円です。何巻何号までと明記の上、代金を添えて申し込んで下さい。尚、銀行自動引き落としをご利用になっている方は、代金をご指定口座より引き落としを致します。

☆住所変更

住所変更は刊行物発送の準備の関係上、毎月10日まで受け付けた分は新住所へ発送します。10日を過ぎますと次回発送分より新住所へ発送します。

又、昨年6月1日現在で発行した名簿に掲載されているメールアドレスが間違っているという指摘がありました。アドレスが正しいかどうかをチェックの上、間違いや訂正がございましたら、本誌綴込みの変更用葉書にて至急ご連絡下さい。その際文字はブロック体ではっきりとお書き下さい。電話での受付は致しませんがFAXでも受け付けます。➡ FAX: 0422-31-5487

☆会費納入のお願い

天文学会は主に会員の皆様から納入される会費によって運営されております。天文学会は1997年度より定款改定に伴い会計年度が1月～12月となり、新年度がスタートしています。なるべく早く会費をご納入下さい。

尚、予稿集の予約をされている方は会費に4,000円を加算して下さい。

○銀行振込をご利用の方は

東京三菱銀行三鷹支店 普通 4434400
社団法人日本天文学会

○郵便振替は

00160-1-13595 社団法人日本天文学会
へご送金下さい。

尚、海外在住の方はVISA、アメリカンエクスプレス、マスターカードでのお支払いも受付けています。用紙をお送りしますのでお申し出下さい。

◎学生の方は郵便振替ご利用の時は通信欄に、所属大学、学年等、学生である旨を明示して下さい。銀行振込の時は別途郵送、E-mail、FAX等でお知らせ下さい。(天文月報奥付に明記してあります)

◎会費と予稿集代金、月報のエアメール料金は銀行口座より自動引き落としの取扱いもしています。ご希望の方は学会事務室へご連絡下さい。申込み用紙をお送りします。



「燦燦」

和歌山県 小北純子

編集後記

「新編集委員より一言」

前任の末松編集長からバトンを受けましたが、これまでの歴々の編集長と比べるべくもない頼りない編集長です。ただし編集委員には強力な人が揃っていますので（編集事務局も健在ですし）、これから2年間この体制で頑張らせて頂きます。より一層見やすい紙面とこれまで以上の速報性（特にすばるを始めとした新しい計画から生み出される最新のデータ）が実現できればと思っております。何はともあれ現実には皆様原稿が月報の命ですのでよろしくお願いいたします。2年前編集委員としてこの原稿を書いていた時の気楽さが懐かしく思い出されます。（上野宗孝）

いつも研究の息抜き(?)に楽しく読んでいた月報の編集委員になるとは夢にも思っていませんでしたが、上野編集長から声がかかってしまったのは断れませんが、まずは原稿依頼、集めに努めたいと思います。編集関係の仕事は、まったくのはじめてですので何かと至らないと思いますが、よろしくお願い致します。（和田桂一）

天文月報編集委員という大役を引き受けてしまいました。はじめのうちは頭の中で企画をめぐらせ楽しんでいたのですが、だんだん原稿集めの苦勞がひしひしと伝わってきて、たいへんなことを始めてしまったなと思っているところです。かつて勤めた公開天文台で発行した冊子の編集経験を活かしつつ、社会教育関係の記事集めに貢献できるかと思っています。よろしくをお願いします。（小野智子）

居ても居なくても同じような幽霊委員ですが、何故か居残ってしまいました。つまり、これで21世紀まで編集委員であるわけです。ここで何か書きたいのはやまやまですが、2年前の編集後記を読み直して赤面し、断念しました。（大橋正健）

宇宙研で気球をいじっている斎藤です。お蔭様で守備範囲が広がったのですが、広くなりすぎた気もしないでもありません。来るものは拒まず、天文月報の編集委員も引き受けてしまいました。聞くところによると、原稿を集めるのが大変だとかいう話ですが（身に山ほどの覚えがあります...）、ほちぼちがんばります。（斎藤芳隆）

新しく編集委員に加わりました。まだ右も左もわかりませんが、無事ファーストライトを迎えたすばる望遠鏡や関連装置の話題も、もっとお伝えできるよう企画を考えたいと思っていますので、皆様ご協力よろしくお願い致します。（田村元秀）

大学院から数えると、天文の世界に関わってはや10年目。その間の観測技術、コンピューター、理論研究の進化は目ざましく、ふと気が付けば、周りは良く知らないけれど面白そうなことであふれているではありませんか。この際、自分で調べるより、良く知っている人に聞きまくってしまおう。と言うことで皆さん、原稿の依頼に伺います、よろしくお願い致します。（内藤統也）

東京学芸大学の土橋です。専門は電波天文学で、暗黒星雲と星形成に関する研究を行っています。平成11年1月より月報編集委員になりました。電波天文学に関することを中心に、良い記事・面白い記事を沢山集めようと思います（研究者の方はご協力ください!）。また、私は教育学部に所属しておりますので、天文や理科の教育に関する記事も集めようと思います。どうぞよろしくお願い致します。（土橋一仁）

編集委員	上野宗孝（編集長）、大橋正健、小野智子、斎藤芳隆、田村元秀、土橋一仁、内藤統也、和田桂一				
平成11年3月20日	発行人	〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1	国立天文台内	社団法人	日本天文学会
印刷発行	印刷所	〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町565-12		啓文堂	松本印刷
定価700円（本体667円）	発行人	〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1	国立天文台内	社団法人	日本天文学会
TEL: 0422-31-1359（事務室）	/ 0422-31-5488（月報・欧文編集）		FAX: 0422-31-5487	振替口座	00160-1-13595
日本天文学会のホームページ	http://www.tenmon.or.jp		月報編集	e-mail: gpjimu@tenmon.or.jp	